

家庭でできる学力アッププロジェクト

～平成26年度とちぎっ子学習状況調査結果から～

平成26年11月 栃木県教育委員会

本県では子ども一人一人の学力向上を目指し、「とちぎっ子学力アッププロジェクト」を推進しています。この資料は、プロジェクトの要である「平成26年度とちぎっ子学習状況調査」の結果から、家庭での時間の使い方と教科の平均正答率の関係について取り上げていますので、お子様と家庭での過ごし方について話し合う際、参考にしてください。



時間を上手に使う意識を育てましょう

ポイント

○ 時間を有効に使うための計画を立てる

- 決まった時刻に学習に取り組めるよう、基本のスケジュールを決める。
- 1日のうちにやらなくてはならないことの優先順位を決めて、実行する。

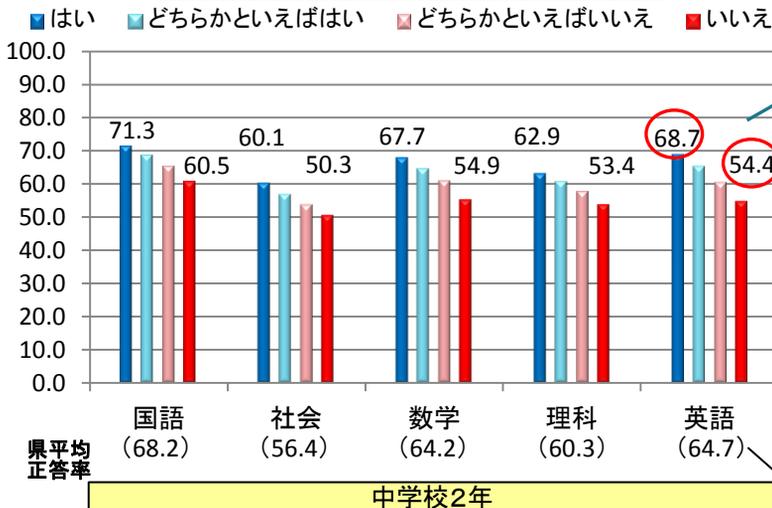
○ けじめのある時間の使い方をする

- ゲームやテレビの時間を決める。
- 携帯電話・スマートフォンの使い方や時間についてのルールを守る。

時間に対する意識について

生徒質問紙調査の質問内容

時間を上手に使うことを心がけている



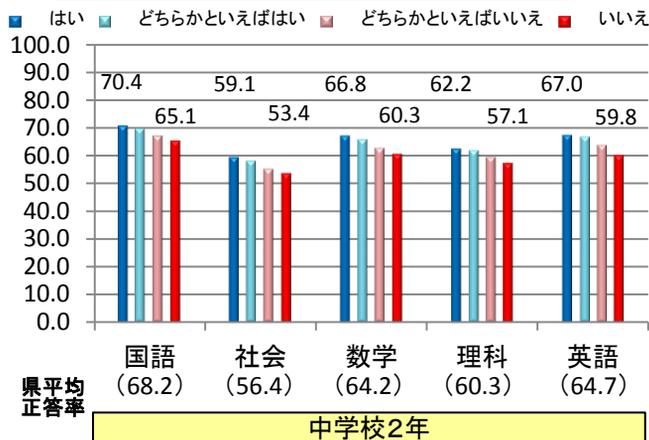
この質問に「はい」と回答した子どもの英語の平均正答率が68.7%、「いいえ」と回答した平均正答率が54.4%ということを示しています。

調査結果から、時間を上手に使うことを心がけている子とそうでない子を比べると、それぞれの教科で平均正答率に大きな差があることが分かります。

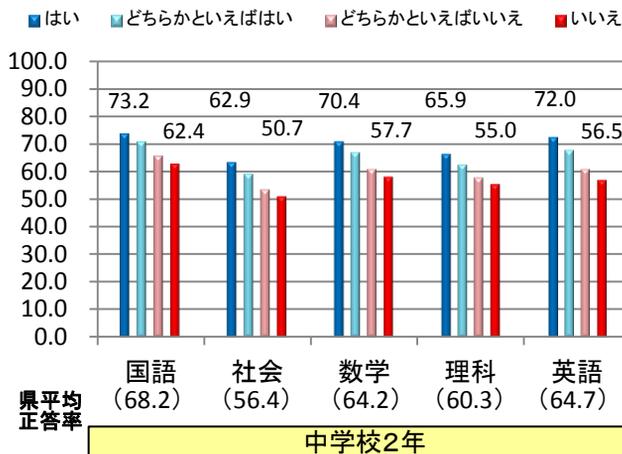


県全体の平均正答率を示しています。

家で勉強するときに、だいたい同じ時刻に取り組むようにしている



家で、自分で計画を立てて勉強している

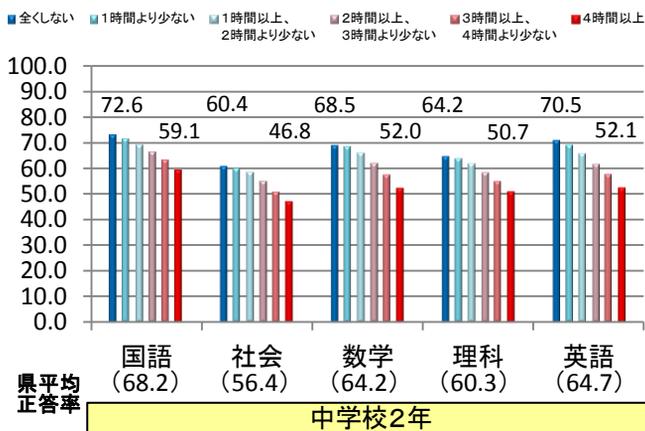


調査結果から、だいたい同じ時刻に勉強するなど規則正しい生活習慣を心がけていたり、自分で計画を立てて勉強したりしている生徒の平均正答率が高いことが分かります。

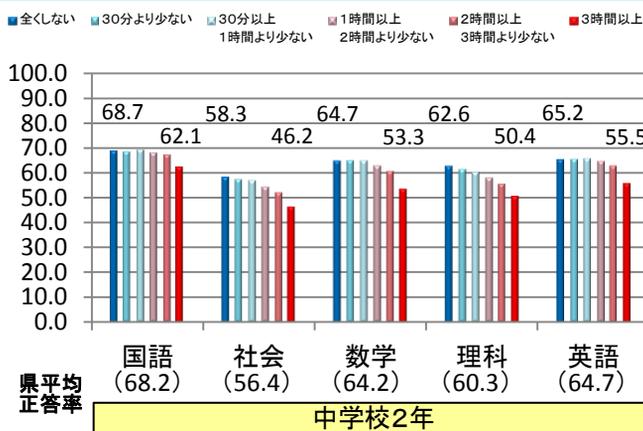


時間の使い方について

ふだん、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか。



1日にどれくらい携帯電話・スマートフォンで、電話やメールをしたりインターネットのサイトを見たりしていますか。



※「携帯電話・スマートフォンを持っている」と回答した生徒中2(43.3%)の平均正答率を示したものです。

テレビゲームや携帯電話・スマートフォンを長い時間使用している程、平均正答率が低いことが分かります。テレビ・DVD等の視聴時間に関する質問でも同様の結果が出ています。

時間を上手に使うことで、学習時間を確保できるようすることが大切です。また、睡眠を十分とりつつ、興味があるものについて調べたり、読書をしたりする時間を自分で生み出せるよう、お子様の自主性を伸ばしていきましょう。

